

This is Sister_megu@Mahoh_Shohjo_Ai fanbook Presented by TANA@Garyuh_Chital In 2010 Summer

冬 蟲 II 夏 想
Gongceps simpsis (berley) saccardo

for Adult Only...





ねーさまっ♡
ねーさまああっ♡

ねーさま ねーさま
まだ百ってるのお？

素直に「マユ様」って呼べば
楽にしてあげるのに
強情ねー
もしかして もう
壊れちゃってる？

あっ！
んあああつ！
イクイクううつ！



だ・か・ら
このおクスリで
洗脳してあげる♡

モルモットを勝手に殺すと
兄さまにすこしく怒られちゃう
からねー♪
ん ね ね

大丈夫よお
殺さないって

なんか もう
飽きてきちゃった♪

はいおつかい
ちゅーっ♥

あははっ いい顔♪
顔の中グチヨグチヨ
でしょー？

クリトリスにも
いっばい入れて
あげちゃうね！♥

じやあにんしん
『お・お・お・お』

マ・マ

ねえ…ひや
ま…ピツ

あ…っ…

あ…っ…

ひや…あ…
あ…っ…

おっ…あッ
まゆ…あ…
マコ…あ…

あはははっ
よくできました！



じゃあ、ご褒美に
お尻の穴にいつぱい
射撃してあげるね

特選の洗脳薬が
たっぷり混ざった
ザーメン

直腸から全部
吸取して

あははっ
バカ面さらして
イッちゃえ!



ひっ!
あああ!

あきやああア
あああ



おおおっ!

ヒッ♡

ひっ♡

んおっ♡

ア...

ア...

アア...



あ



あ…ぎ

と

…し



なっ なんなの
コイツ…

ゴメンナ…
サイ…

ゴメンな
さい…

ワタシ
悪くない

わだし…ア…
わた…ワタ…

あ…あ…あ…

あ…あ…あ…
ゴメ…

助けて…
助けて…

あ…あ…あ…
殺す…の…
コロ…ス

き…気持ち悪い！
ゆらぎだ…
あはははっ！

ねえ 兄さま！ コイツ
壊れちゃったから殺して
いい？ いいでしょ？

殺…ツ？

…え？ ちよ…
なにこれ？

な…やだ…
なにコレ…
くっついて…

抜けない…やだ
これ…同化してる！

離さないよ！
はな…うわ…やだ
か…身体がああつ！

は…はな…
離して！

ひっ！ ヒイツ！
離せ！ 離せ！
離せ離せ離せてえっ！

に…兄さま！
助け…助けてええっ！







環瑠男からの
メモ……？

見かけによらず
こういう律儀な
ところがあるのよね

ん？





好き

大好き

早く帰ってきて
私の主人様

好き



外は着いでしょ？
私の身体で暖めさせて



いっしょに
お風呂に入りましょう

ペニスの中を指
あつてー



あぁ...そしておじいちゃんも
精液もウンチも...出して

あんなに花の匂い
いい匂い...
おじいちゃん...
おじいちゃん...

本当だー私
返りつてしまった
わわ

出会った頃には
考えられないくらい
巨無 became だったわ...

いやー違う
変わっただんじゃない

マソブタな自分を
本当に捧げるべき
相手を見つけただけ

フン...一週間やそこら
見され続けた程度で
腫れるとでも...思ってるの??

思ってるよ
というか メグ自身
分かってるでしょ

絶すたびに僕のチンポの
大きさや形が変わって
きていることだ

メグのケツ穴が一番
感じるように少しづつ
少しづつ

精液の濃さも射精の
タイミングも尿も温度も
全部メグが一番
気持ちよくなる仕様に
調整している





毎日毎日……少しずつ
メグが変わるんじゃない
ボクが変わる

逃げられないよ
メグの意思ではボクの
身体は変えることが
出来ないからね

ふん……女に合わせて自分を
調整するなんて……す
ずいふんと……気長じゃない

さ……さつきとクスリ
でも使えば早いのに
……陰湿なガキね

クスリなんてメグが
ブツとぶだけでボクは
置いてけぼりでしょ？

そんなの面白く
ないじゃない？



メグは安心して
ボクのチンポに身体を
預ければいいよ

そうすれば ほら
何もなくても
気持ちよくなれるよ

うる……さい……っ！
んあ……ああんっ！



メグは何も変わらない
その快感はもともと
メグの身体が持っていた
素質なんだよ

生まれつきの下変態
だったってことなん
だよ

ち……道……ちが……
あうああんっ♡



ほら 顔を見せて
快樂に濡れる牝ブタ
女戦士の顔を

んひっ♡

やめ……へええっ！
んおっ♡ んほっ♡
んこっ♡ おほおっ♡



ほーら やつぱり
馴染んでる♪

昨日よりも一昨日よりも
アツサリ馴染るように
なつちやつてさ

ちが…あつ！
ああつ♡

クワッ

グワッ

クワッ

グワッ



ほら ザーメンも…
美味しそうに飲んでるし

いいんだよ メグだけが
美味しく感じる味なんだ
から…
メグだけのチンポ
なんだから

わたし…だけの…
ああ…ああ…

そうだよ だから
メグもポクだけに
本心を聞かせてよ

あ…ああ…♡

「チンポ欲しい」って
クソ穴にチンポ汁欲しい
って言ってみてよ

ぬろお…♡

アツッ♡
アツッ♡

アツッ♡

んんん…んん…
く…んく…
ん…っ！♡



言ってくれないなら
やめちゃうよ？
メグだけをイかせて
あげないチンポに
しちゃうよ？



あつ…あつ
いや…イヤあ！

欲…しい 欲しい！
チンポっ！ チンポ！

お尻に…糞穴に…っ
チンポ射精してええっ！

クワッ♡
グワッ♡
クワッ♡
グワッ♡

クワッ♡
グワッ♡

クワッ♡
グワッ♡

「大丈夫…大丈夫よ
どんなに醜態を晒しても
…快楽に流されても」

イクの？ イクの？
いいよ イッチやえ！

フタ側でイキ
まくつちやえ！

ひくつ…
んんぶろう—っ

んこっ♥んひっ♥
…んおッ…んこッ
んぐろう—っ

ゴポッ！
ゴポッ！

「腰をひたし
シメプスるごはなぬ」

ハッハッハッ

ハッハッハッ
ハッハッハッ

遊蕩男の淫淫で丁寧で
気持ち悪くなるほど
優しい拷問の中

私の中にガサガサに残る
遺ちきれないもう一人の
自分が痛く

はあ…はあ…っ

ハッハッ

く…あああ…っ

その時は遊蕩男の任命の
以前から—

強大なゆらぎたちが因
われ 犯されていた時
常に同じ場所の隅に

異形の「口」のちの
性欲処理機能の
された「口」もある

苦痛と快楽を混々と
延々と味わい、屈辱
の快感にたどり着く

イクのクイクのクイク
ひくもガマンした
のに耐えるのだから

花嫁になる「口」を
股擦りする「口」を
花嫁になる「口」を
股擦りする「口」を

行商は其々の肉を
という花嫁だ
永遠の愛を
永遠の女兵士よ

んああおっつ！
おぶっ♡んぶっ♡

あああーっ！
イクっ♡もう…
ダメ…イクううっ！

ああ…ん…偉い
ます…♡

チンポ…愛しています…
愛することを…偉います…
だから犯して…射精
してえ…あなたたちの
赤ちゃん孕ませてえ…♡

あひっ♡ あっ！
らめえ！ きもど…
っ♡

永遠の悦楽に
身をゆだねようと
舞めたこともあった

んああおっつ！
おぶっ♡んぶっ♡

んああおっつ！
おぶっ♡んぶっ♡

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ



ああ…みんなごめんね…
ごめんなきいっ！

私…魔法戦士メグは…
ゆらぎの肉穴便器女に
なりましたあ…っ♡

死ぬまでご主人様の
オチンポにご奉仕する
ことを誓いますうっ♡



戦いより…あなたたちよりも
チンポを選んだのっ！

だって…チンポ気持ちいい
んだものっ♡

マンコもケツ穴も全てを
チンポに捧げるわっ♡

いいっ どうでもいいのっ！
チンポさえあれば人間も
仲間も…どーなってもいい
んれすうっ♡♡♡

あんなに汚いものを見たのは初めて…
あんなに汚いものを見たのは初めて…
あんなに汚いものを見たのは初めて…



それなのに…心の
どこかにいる影が
痛いかけ 邪魔をさる

『本心はそれではないのっ…
本心はそれではないのっ…
本心はそれではないのっ…』

『あなたのご主人様と
してずっとお付き合い
ヤツは他でもないから
しれないのっ…』

ああっ んあんっ♡
ケツ穴あ…マンコも…
あおああっ!

チンポいいっ♡
ああっ 好きっ!
大好きよおっ!
イク…また…
イクううっ♡

「あんなに気持ちいいの
は初めてだよ」

「あんなに気持ちいいの
は初めてだよ」

んっ♡ んっ♡
んぶううっ!

おっ♡ っっ♡
んぶうううっ♡

「あんなに気持ちいいの
は初めてだよ」

「あんなに気持ちいいの
は初めてだよ」

チンポ臭いブタ
便器にビてえ…♡

「米米の 飯の
飯の米米のうんち」

あ…♡…あ…♡
あ…♡…あ…♡



そして——鬼ついた
ときにはいつも彼らは
殺れ果て 弱り果て
死んでいた

誰とされたはずの
私だけが残されて
いた

勝めたはずの回田
崩り出され 再び
新しい鬼いゝの
日々を繰り返す

どうせ アンタも 死ぬんでしょ。



メグのお尻 もう
精液とオシッコで
いっぱいだね

ははっ ブルブル
震えちゃって…淫靡
されてイキそうなんだ

ひあっ♡ あっ♡
んあああ♡♡♡

てしほ
恐ろしい淫靡さ

イキたくない…っ
やめて…あああ♡
ダメ…あああ♡

イケよ！ 全部ぶち
まけるところ見られて
イッちゃえっ！

出る…出ちゃううっ！
あああっ！ イキ…
イヤあああ♡♡

てしほ
逃げ出すに決まってる

あああっ！ イケっ
…イケ…見られて…
あああ♡♡♡

いけっ！ マソフタッ！

私を独りにするに
決まっている

あっ！

あああ……っ
イ……イツ……♡

イツ……く……く……く……

♡♡♡

ピッ！

ピッ！

ピッ♡

あひ

あ

スッ♡

ジュッ！

ジュッ

アッ♡ アッ♡ アッ♡





なにこれ。

スーツと名札
それとコピーして
もらう会議用の資料

いや だから...

仕事だよ 仕事

セックスして食って寝る
だけのVIP待遇なんか
与えるわけないでしょ



あ...あなたたちに
協力しろって言うの？

そうだよ、このオフィスに
移らす「家賃」分くらいは
稼いでよ

それと その資料
よく読んでみて

...新型インフルエンザ
ワクチンの緊急供給に
関する

これは 普通の
医療関係の...

インフルエ
急供給に關



メグ 僕がこの会社の役員
だつてことを忘れてない？

この会社はゆらぎを作り
出す研究をしているけれど
それだけでこんな大企業に
なつてゐるわけないでしょ

99パーセント以上が「まともな
医療メーカー」としての活動だよ

僕もソレに貢献しているから
ここに住んで業務時間外は
好き勝手に出来るわけ

三島 信雄 佐藤 正志



人間の味方のつもり？
さんざん殺してきた
くせに...

味方のつもりはないよ
殺すのに躊躇もない

ただ人がいなくちゃ
この社会は成り立たない

人を食うのも殺すのも
人間社会があればこそ
成り立つ自由

だから殺す数以上の
人間を救うことに
矛盾はないよ



いかに人間が僕より弱くても
彼らは圧倒的多数

それを守る側も殺す側も
その社会の中で生きていく
以上 同じルールに勝る
必要はあるよ

もしかしてメグたちは
「気まぐれに」ゆらぎを持って
わずかな人間を助け

助けそこなってゆらぎに
なってしまった人間に
ついては殺して「無かった
こと」にしてるわけ？

そんなの患者の病巣を放置
したまま溢れてきた膿を
気まぐれに取り除いて

悪化した場所は痛み止めを
打って目をそらして優秀な
ふりをするヤブ医者と
変わらないんじゃない？



……ガキの癖に
口だけは達者ね

カチャ

そうだね 僕は妖魔になって
まだ十数年だから

メグとかシンみたいな
長く孤独な生き方のどこが
いいのかわからない

よかったら今度教えてよ

魔法戦士が何百年も
気まぐれな殺人をしながら
生きる目的を



とりあえず今日はまだ
研修生扱いだけど
早くいろんな仕事覚えて
一人前の社員になってね

ワーワー

じゃあ それ全ページ
四十部ずつコピーして
ホッチキスで綴じて

三十分後に会議だから
急いで着替えて作業してね



何も悪い返せなかった
なぜなら

敵のみんなが
れは罪を認めて

目をそらして来た真実を
突かれた戸惑いと羞恥

そして微かながらも
この胸に確かに感じる

温かな懐かさが言葉を
溶かしていたからだった



あははははは
そりやすこいわ

げらげらげら

過去にそんなことが
あったんだ
やるじゃんアンタ



わ 笑うなよ
言ってることは間違っ
ないだろう！

ゴメンゴメン
天然でそういうこと言える
ことがすこいって思うのよ

でも— その時
メグさんが逃げ出す
心配はしなかったの？





確かに
メグは強かった
大きかった

正直—— 池に僕が飲み
込まれそうな感覚に陥る
くらい底が知れなかった



——
あなたも



あなたもメグが
恐くなってきたのね

!



珍しいことじゃないわ
メグと親しい人はみんな
そう言うの

恋人だったシンですらね

征服しているつもりが、いっ
しかメグの強さと包容力に
食われそうになるのよ

どんなにメグを支配しよう
としても「喰としまれない」

性欲も肺力も機しさも加護
も愛情も 与えているつもりが
与え「させられている」
……みんな、それが恐くなる



?

メグがあなたに求めているもの...それは、この娘が私に与えてくれるものと多分同じ

ガッパッ
明ちてるというより
ベタ惚れしてんのよ
そしてアンタを人と
して必要としているの

じゃあ あいつは
唯ちたフリしてる
だけなのか?



人間としての時間

——「人生」よ



増殖男... 遅いわねえ
駅前ならすぐのはず
だけど...

ま 増殖男がいなくても
日課はちゃんとこなさないとね

キィ

キィ

私はこの社員
なんだもの♡



理瑠男も羨望も 元は人間

そして人間と違う肉体や寿命を得た今も 人間としての暮らしを大切にしている存在

あ…っ ああんっ♡

プルプル ビクン!

編…入って… くるう…っ♡

やだ 今日の… すごい…元氣…っ♡

ズッパ!

グキョウ グキョウ

ビクン!

ズッパ!



その人と一緒にいることが 一日を 一週間を 一ヶ月を…

セックスしたあと だから…かな…

んああ…お尻… いいいいっ♡

ケツ穴…ウンチ穴あ… 編が…しやぶってる… 編めて…編めてえ…っ♡

いままで何の意味もなかった クリスマスなんてイベントすらも とても大事なひと時にしてくれる



ああ…おつきくなつて…♡ もっ…もっとお!

でもね 理瑠男 勘違いしないで

あっ…らめっ…♡ らめえっ!

私のクソ穴まんこ…孕ませてえ!

もう…もう…出ちゃう 生まれちゃうっ…ああ… イク…イクううううっ♡

ウキウキ!

ビクビク!

ビクビク!

アッ

アッ

ウキウキ!

きつとメグはその「人生」を邪魔する者がいたら躊躇なく殺すわ

それがゆらぎであっても人間であっても魔法戦士であっても 顔見知りの私たちであっても



イツツクウツ
うら——ツ♡♡

あひっ！
ああああっ♡

ビクッ
セクッ

ズルルッ♡

アアアア!!

たごえきわが
ツツツの目撃証 だっつわ
してっ

はあ♡
あはあ……あはあ……♡

はあ♡
るるる……♡

ああ……ん……♡
る……りお……見て……

今日も……こんな……
可愛い子……いっぱい
産まれちゃった……♡

容赦は
しないわよ

トオオ……♡

あはっ♡
あははっ！

ガッ

見てっ みへっ♡
にーひやまアアア！

ガッ！

わたひのチンポが
犯ひてるのオっ！

なんで？ にーさま
なんれえ？ あへっ♡
あへええっ！

ガッ

にーさま 違う
…「ねーさま」

あっ んひっ♡
はっ ハイいっ！

あ あたヒ からだ
溶けヒヤツたあアア♡

あひっ ひゅこいっ♡
ヒんぼっ なかつ 身体の
なか ぜんぶっ チンポれ
いっばあああいっ！

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ごめんらひやい
ネーぎやまあ…♡

ガッ

ガッ

ガッ



ゆらぎ化……か
それとは別に……

……この……
……

……の……
……

……の……
……



……の……
……

……

ねーさま♡

あははっ

……の……
……



『同島秋使』——彼は人間で
ありながら特異な性質を
持っていたと聞いている

……の……
……

……の……
……

彼は死んだわ

事故死だった
ゆらぎとの戦いは
関係ないわ

あのクスリで
マユはアイの精神を
凍りつけていた

だが、おそろく
それは鍵を開けて
しまった
「マキトシ」の死という
記憶とゆらぎ化を抑制
していた鍵を――

グキョッ

記憶の封印――それは
魔法戦士なら誰でも使え
る術

だが魔法戦士相手にゆらぎ
化の封印とともに意識と
記憶を改竄する――

ああたビ たべべ
られれつ られつ
てつ イヒつ!
キヤハハハつ♡

アヒイッ!

そんな強力な魔術を
使える奴は限られて
いる

問題はなぜ「ノイツ」がそ
うまでしなけれはならな
かったのか、ということ

ひんぽつにっ
食べられへえつ!
い…キヒツ♡ヒヒヒ♡

――メグ お前は

なぜこいつを洗脳
したんだ――?

「私も雄二さんと同じ——変態だから」

「男の人のお尻に顔をうずめて口づけして
ご奉仕したい——毎日そんな妄想に
胸を焦がしている女なんです」

♡およめさま♡ HONEYDAY♡

漫画の宣伝させていただきます。COMIC TENMAにて「およめさま HONEYDAYS」を不定期連載
しています。エロエロな若おくさまの新婚ライフを甘く、そしてハードに描いています。こんなお嫁さん
欲しいな、って思ってもらえたら嬉しいです。遅筆なのでコンスタントに掲載は出来ませんが情報は
ホームページやブログで公開していきますので、よろしかったらチェックしてみてください。
よろしくお願ひします！ (>_<) /

メスブタ研修生メグの日常

十月十月十月十月十月十月十月十月十月十月十月十月十月十月十月



デスクワークだけでなく
生産現場へのパシリも
兼ねこなす評判は全社
に広がっています

派遣男の命令により
社員となったメグ
朝からバリバリ事務
作業をこなします



液体
容器

液体
容器

その美しさと有能さに
驚かれた者がいっしかり
メグの周りに集まる
ようになりました

コレ研究室に
もっていきますね

おっかしい
ぞーす



そんなみんなの
肉便器になることも
派遣男から任された
大切な仕事

ああ…先破…っ
出して…くださいっ♡
チンボ汁もおしっことも
うんちも夜尿便器に
ぶっかけてくださいっ♡

あああっ メグさん…
メグさんにかけてやうっ
うんち…ぶっかけ
ちやううっ！

女子トイレでは女性社員同士のヒミツの交流。自らのブタ顔を鏡に映し興奮するメグ。同僚もルーージュでボディペイントしてあげます。珊瑚男も知りません。

メグさん かわいいー 写メ撮りますねー！

メグさん いつも協力してもらってすみません

は…はい… 帰って…ください…♡

ブタ顔見られてイクところ…見てえ…♡ あっ…イ…く…♡

ん…っ 気にしないでください…私…ああ…この子達が好き…ですから…♡

そして一番大事な研究用ゆらぎ蟲の生産と飼育。毎日、ゆらぎの幼蟲を肛門と膣に入れて体内で成長させた後に飼育容器の中に排泄。その後、定期的に母体であるメグの糞便や愛液、母乳などのエサを与えます。急速に大きくなった子供たちに肉穴を賣られ、何百回とイカされまくります。

ただいまー… 今日も会議で遅くなっ…

あっ！

毎日クタクタになるくらい大変ですが、珊瑚男の予想以上に充実した社会生活を送っているメグなのでした。おしまい。

またこんなカッココで寝てやがる！ ホントにブタだなメグはっ！

冬 蟲 夏 想 II

我流痴茶

<http://lans00.sakura.ne.jp>

2010_summer

